

# 第5回 PWC ばか詰作品展

## 解説編

開 催： 平成18年 6月15日

解答締切： 平成18年 7月10日

解答発表： 平成18年 7月15日

たくぼんの解図日記

<http://takubon-tumeshougi.269g.net/>

暑い！新居浜では34℃です。私の部屋にはエアコンがありませんので死ぬほど暑苦しい日々を過ごしています。雨でも降らないかなあ～。

第5回 PWC ばか詰作品展ですが解答者6名と前回は2名も下回りました。難解な作品もあったようでそれが原因とすれば申し訳ないことをしました。解答いただきました方、ありがとうございました。

それでは解説編のスタートです。

【PWC ばか詰ルール説明】

1. 取られた駒は（2. の例外を除き）取った駒が元あった場所に復元する。
2. 二歩及び行き所の無い駒の禁に触れる場合は、復元せずに持駒になる
3. 成駒は成ったままで復元する
4. 成れる位置に復元した場合、成不成の選択は行えない

（2005年9月5日に掲示板でクロ氏が提案されたルール設定に準じています）

- ・表記法は駒を取った場合・・・○○駒（駒取り） / ●●駒（←取られた駒の復元）とします。

簡単な参考として”たくぼんの解図日記”の2005年11月25～27日付け：「PWC ばか詰について考える」をご覧ください

【注意】

スペースの関係で敬称は略させていただきます。ご了承下さい。

なおこの出題は「正式発表」扱いとし Fairy Top IXの対象です。

PWC1 たくぼん 作 （登場2回）

PWC ばか詰 9手

										一	▲
										二	桂
										三	
										四	
				笛						五	
						笛				六	
			銀	歩	王		歩			七	
			金							八	
										九	

【詰手順】

66 銀 同馬/65 銀 68 金 47 玉 39 桂 同馬/66 桂  
57 金 同馬引/39 金 48 金 迄 9手詰

【解説(のようなもの)】

今回の作品展で最大の難問となってしまいました。正解者はビック3の3名のみ。詰上がり「4」からの逆算で創りましたのでこんなに難しかったとは全くの驚きでした。事実創作の90%は序の3手の組立に費やしたのですから・・・。たまにはこんな嬉しい誤算もいいでしょう・・・。

若林

「配置に作り手の意思を感じる難問。65馬に金銀両方良いところに運ばせて解決。圧巻なのは最終5手。変則スイッチバックで最終手を成立させる手順は見事。」

★こんなに褒められるのは久しぶりで照れくさいです

隅の老人 B

「苦しいけれど、詰上がりは4。詰四会のご発展を祈る。」

★手順は2の次で詰上がり狙いだっただんですが・・・皆さん逆の感想のようです

橋本孝治

「最後の3手が全然見えず、最後まで残りました。

詰上り"4"も鮮やかで、PWC4 と共に今回の収穫のひとつだと思います。」

★う・・・うれしい

**北村太路**

「桂の使い方が全然わかりませんでした。まさか、馬を持ってくるためとは。そして、駒交換で最終的には金を持ってくると。攻駒をうまくワープさせるという筋は今までなかったのでは。これは好作です。(fm 使用)」

★金の動きもなかなかいいでしょ

**小峰耕希**

「いきなりですが fm 解答 (^ ^ ; ) 馬を引き寄せて金で仕留める筋に気付かず。解答が遅れたのはこれが解けなかったためです。すみません

m(\_ \_ )m

ところでこの詰上り、ちょっと歪んでますが“あれ”ですね？」

★歪んでいるは余計です(笑) 斉藤さんのことは言えませんが。

**PWC2 北村太路 作 (登場 12 回)**

**PWC ばか詰 11 手**

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
玉	皇	王			圭				一 ▲ なし
				皇					二
		桂		皇					三
				香					四
	桂	香							五
				歩	皇				六
			桂						七
									八
	桂								九

**【詰手順】**

81 桂成/73 香 62 玉 73 桂成/85 香 同玉/62 圭  
 85 桂/77 香 74 玉 73 桂成 65 玉  
 77 桂 64 玉 65 香 迄 11 手詰

**【解説(のようなもの)】**

狙いは一目瞭然の桂の3段跳ね。第3回 PWC 作品

展の6番の橋本さんの短評での宿題に応じてくれました。宿題は4段跳ねでしたが、香では4回目は取られちゃうため3段跳ねということになりました。取られちゃうとはいえ私には 89 に着地した香が見えたような気がします。

難易度は高くない為、解答者全員に丹惜しんでいただけました。

そういえば金銀を使わない貧乏図式ですね。

**若林**

「見た瞬間楽しい手順が浮かんできてその通りになる。桂の4段跳ねならぬ4枚跳で 81 香を奪取。嬉しくなる一作。」

★香のほうではなく桂の方でしたか・・・

**隅の老人 B**

「時は世に連れ、世は時に連れ。桂馬が跳べば、香も跳ぶ?。」

**橋本孝治**

「香の4段跳...と思ったら、最後は跳ねずに消えるんですね。そりゃそうだ。ということで、今度は桂香歩以外を使った4段跳を希望。」

★橋本さんの宿題はハードルが高いです。はい。私には出さないで・・・

**北村太路**

「七郎さんが言っていた、4段跳ねを目指していたが、失敗して3段になりました。4回目は跳ねれず取られちゃうので。4回跳ねる理由付けを考えるのが面倒になり、今日に至っています。」

★ふふふ。苦勞されていますね

**もず**

「見た瞬間に狙いのわかる図ですね。香の3段跳ねの実現としてはこれ以上ないのではないかと思います。」

**小峰耕希**

「これは流石に一目。短手数ですが充分くるくる化出来てると思う。」

★もう少し配置が整理できれば・・・でしょうか

**PWC3 神無七郎 作 (初登場)**

**PWC ばか詰 31手**

9	8	7	6	5	4	3	2	1	▲なし 一 二 三 四 五 六 七 八 九
							玉		
						香			
							桂		
						香			
						香	王	銀	

**【詰手順】**

18 銀 28 玉 17 銀 27 玉 16 銀 26 玉/27 桂  
 15 銀 17 玉 26 銀 28 玉 17 銀 19 玉  
 28 銀 18 玉 19 銀 27 玉/18 桂 28 銀 16 玉  
 27 銀 17 玉 26 銀 28 玉 17 銀 19 玉  
 28 銀 18 玉/19 桂 27 銀 17 玉 18 銀 26 玉  
 17 銀 迄 31 手詰

**【解説(のようなもの)】**

攻方の主力は銀と桂のみですので、囲いの中での詰型が分かれば簡単のはずですが・・・果たして・・・。詰型の19桂・17銀型を見つけるのはそう難しくはないのですが、そこに至る手順を探し出すのは意外とややこしい。小峰さんも言っていますが桂を下に落とすなら12手目27玉/28桂が有力に見えるからです。遠回りのようで遠回りではない。これが本作のポイントでした。それにしても囲いの創り方も少ない駒数で素晴らしいし、楽しめる内容といい新しい解答者の方に解いていただきたい作品でした。

もう1筋広げると手順限定が難しいんでしょうね。

**若林**

「ああ、この駒数で密室が構成できるんですね。そして銀と玉の応酬だけでこの手数。27 銀までの収束を消すだけで限定になるのが不思議。」

★推敲尽くされています。見習わなければ

**隅の老人 B**

「まずは、銀桂香で終局図を考える、これが意外と難しい。他の人は、どのように考えて解き始めるのでしょうか？この狭い？局面で、終局図を考えつづくのに数時間、嫌になりますね。」

★私は結構早かったんですが、皆さんはどうでしょうか？

**北村太路**

「1筋2筋で結構移動が出来そうなのに、銀と桂の利きで道筋が限定されるんですよ。すごく不思議な感じがします。」

**もず**

「やるべきことははっきりしているのですが、どのタイミングで桂を1筋へ移動させるのかが見えにくかったです。密室で銀と玉がたわむれるのはPWCと相性がいいですね。」

★もっと長いものも可能かな？

**小峰耕希**

「最初4手だったかオーバーして、手が限られてるのにおかしいと試行錯誤する内に、12手目19玉を発見しました。それまでは桂を下げる事ばかり考えてたので、27玉以下の順ばかりを追ってました。でも本局も確か当日に解けてるんですよ。」

★私も同様でした

**PWC4 北村太路 作 (登場13回)**

**PWC ばか詰 149手**

9	8	7	6	5	4	3	2	1	▲なし 一 二 三 四 五 六 七 八 九
						馬			

【詰手順】

47 馬/58 と 同と右/56 馬 46 馬/56 と 同と上/45 馬  
 36 馬/45 と 同と左上/25 馬 26 馬/25 と 同馬/17 馬  
 27 馬/17 と 同銀上成/16 馬  
 同馬/16 全 同と寄/17 馬 26 馬/17 馬 同全/16 馬  
 27 馬/16 と 同馬/17 馬 28 馬/17 銀 同と/29 馬  
 38 馬/29 銀 同銀成/29 馬  
 同馬/29 全 同と引/39 馬 48 馬/39 と 同と右/58 馬  
 47 馬/58 と 同と右/56 馬 46 馬/56 と 同と上/45 馬  
 36 馬/45 と 同と左/25 馬  
 26 馬/25 全 同銀生/17 馬 28 馬/17 と 同全/29 馬  
 38 馬/29 と 同と引/39 馬 48 馬/39 と 同と右/58 馬  
 47 馬/58 と 同と右/56 馬 46 馬/56 と 同と上/45 馬  
 36 馬/45 と 同全/25 馬 26 馬/25 銀 同と/16 馬  
 27 馬/16 馬 同と寄/17 馬  
 28 馬/17 全 同と引/29 馬 38 馬/29 と 同と引/39 馬  
 48 馬/39 と 同と右/58 馬 47 馬/58 と 同と右/56 馬  
 46 馬/56 と 同と上/45 馬 36 馬/45 全 同銀/25 馬  
 26 馬/25 と 同馬/16 馬 27 馬/16 と 同全/17 馬  
 28 馬/17 と 同と引/29 馬 38 馬/29 と 同と引/39 馬  
 48 馬/39 と 同と右/58 馬 47 馬/58 と 同と右/56 馬  
 46 馬/56 と 同全/45 馬 36 馬/45 銀 同と/25 馬  
 26 馬/25 馬 同と左/16 馬  
 27 馬/16 全 同と寄/17 馬 28 馬/17 と 同と引/29 馬  
 38 馬/29 と 同と引/39 馬 48 馬/39 と 同と右/58 馬  
 47 馬/58 と 同と右/56 馬 46 馬/56 全 同銀/45 馬  
 36 馬/45 と 同馬/25 馬 26 馬/25 と 同全/16 馬  
 27 馬/16 と 同と寄/17 馬 28 馬/17 と 同と引/29 馬  
 38 馬/29 と 同と引/39 馬 48 馬/39 と 同と右/58 馬  
 47 馬/58 と 同全/56 馬 46 馬/56 銀 同と/45 馬  
 36 馬/45 馬 同と上/25 馬  
 26 馬/25 全 同と左/16 馬 27 馬/16 と 同と寄/17 馬  
 28 馬/17 と 同と引/29 馬 38 馬/29 と 同と引/39 馬  
 48 馬/39 と 同と右/58 馬  
 47 馬/58 全 同銀生/56 馬 46 馬/56 と 同馬/45 馬  
 36 馬/45 と 同全/25 馬 26 馬/25 と 同と寄/16 馬

27 馬/16 と 同と寄/17 馬 28 馬/17 と 同と引/29 馬  
 38 馬/29 と 同と引/39 馬 48 馬/39 と 同全/58 馬  
 47 馬/58 銀 同と/56 馬 46 馬/56 馬 同と上/45 馬  
 36 馬/45 全 同と上/25 馬 26 馬/25 と 同と左/16 馬  
 27 馬/16 と 同と寄/17 馬 28 馬/17 と 同と引/29 馬  
 38 馬/29 と 同と引/39 馬 48 馬/39 全  
 迄 149 手詰

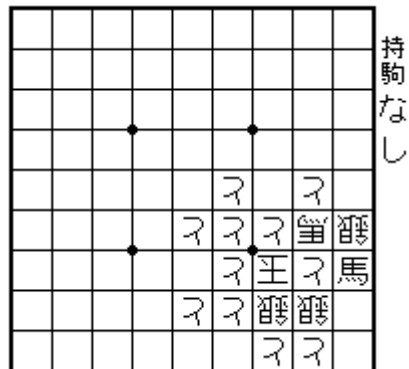
【解説(のようなもの)】

傑作誕生です。北村さんの発想力には PWC の神が乗り移っているかのようです。

攻方は馬のみですから生銀と成銀を上手く使った詰上型の発見がポイントです。これは守備駒入替型のセオリーですのでよく出てきます。

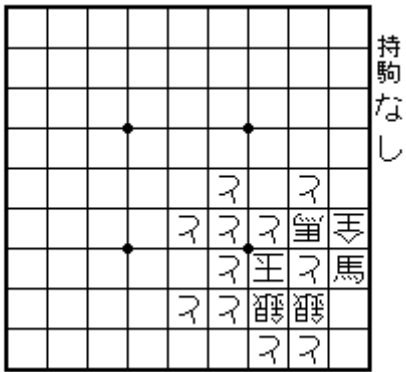
初手 47 馬/58 とからの回転はこれしかありません。とにかく進めてみましょう。

まず最初のポイントは8手目



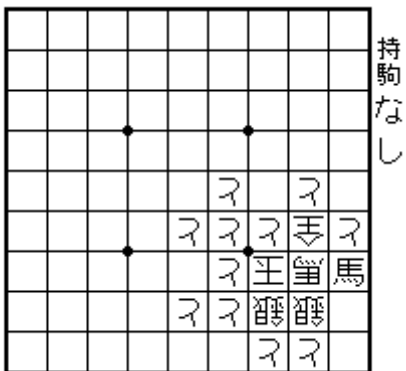
ここから普通に回せば、28 馬/17 銀 同と/29 馬〜と言う手順で回っていきませんが、この順で行くと玉方の駒が馬・銀・全という順番で回ってきてしまい最後 39 の駒が馬となってしまう、最終手の 48 馬を同馬と取られて詰みません。

ということで 27 馬/17 ととして、まず 16 の銀の成らせを行います。これを行なわないと作者の狙いの手順に入れないからです。16 の銀を成らせた図が12手目の場面



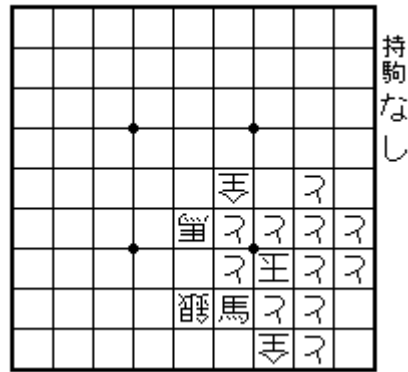
このまま28馬と行って相変わらず馬が先頭ですので、ここから巧みに並び順を変えていきます。その手順が26馬/17馬 同全/16馬 27馬/16と 同馬/17馬の順です。

ここまでで16手目です。



ここからやっと28馬/同銀生と行き回転していきますが、ここでもワンポイントあります。20、21手目で38の銀の成らせを行ないます。でないと回転が途中で止まってしまうのです。ここを過ぎればあとはひたすら回転するだけです。合計9回転します。そうすれば、全、銀、馬の順で回ってきますので最後の形がうまく形成できるというわけです。(詰上図参照)

詰上図



まさに入替パズルといった作品で、考えどころがあり、理想的な構成といえますね。第6回の超大物も期待できそうです。

### 若林

「なるほど、PWC版輪姫と言うのか、何というのか。くるくる回る馬が素晴らしい。それと謎解き！普通に回すと39に馬が来る！それを回避するための序の馬位置変更には参りました。このタイミングでしかできないというのが凄いです。」

★題名が欲しい所です。募集しましょうか？TOP IXの上位に絡んでくるのは間違いないですから・・・。

### 隅の老人 B

「例の如く、ごちゃごちゃ、闇雲に動かしてみる。意外と手は狭いが、流石に149手は、遠い先。詰上がり図が浮かんでこない。手の続く限り、回ってみよう。何度、回ったかは知らないけれど、なんとなく、詰上がり図が見えてきた。好きと根気、そして運良く、です。おまけ 氾濫の⑥ほどではないけれど、解答書きに大苦勞。どなたか、良い方法を教えて下さいな。」

★書くのも大変なんですけど、手順を並べるのも大変です。第6回は301手です。もっと苦しむことになりそうです。

### 橋本孝治

「最初、馬銀全の順番で回して不詰。馬全銀だと



悪いんでしょうか？

**PWC5 伊達 悠 作 (登場 3 回)**

**PWC 打歩ばか詰 9 手**

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		▲ 香
								逃	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

【ルール注意】 最後必ず打歩で詰ませて下さい。

【詰手順】

29 香 23 歩 同香生 22 飛 同香生/23 飛 11 玉  
21 香成 同飛/23 杏 12 歩 迄 9 手詰

【解説(のようなもの)】

初手は 29 香しかありません。(27とか28だったらすごいけど)

そして2手目の合駒の位置が詰上がりに生かされます。たとえば合駒が24の位置でしたら最後の成香の位置が24となり詰みません。詰上りは打歩詰の王道といった形ですね。

初手の歩を取る為の限定打、2手目の合駒の位置、3手目の香不成、簡素な詰上りと申し分の無い作品と言えるでしょう。完成品です。

**若林**

「PWC 打歩として綺麗にできています。素直な手順でもすっきりしていると良いですね。」

★綺麗に出来ているというのはピッタリの表現ですね

**隅の老人 B**

「初手は当然だが、5 手目が好手。これぐらいの手数が、睡眠薬に最適。」

**橋本孝治**

「最初ダウンロードした PDF 版に"11 手"とあったので、何の疑問も持たずに 11 手で詰ませていました。そのせいか、飛の運用で2手縮める順が、かなり巧妙に見えます。」

★う～む何とって良いのか・・・

**北村太路**

「難しかったです。2 三ー2 二ー2 一と動いて成るのは考えにくかったです。何か狐につままれたような手順でした。」

**もず**

「攻駒が 3 枚ないと打歩では詰まないという先入観があって難しかったです。PWC 打歩の簡素図はまだ面白い筋があるかもしれませんね。」

**小峰耕希**

「実はこれも無解寸前でした(詰備会とは感覚が合わないのかなあ)。結果的には最もシンプルな詰上りだった訳で、何で悩んだのか自分でもよくわからないというのが正直な所です。」

★詰備会は良い会合です。

**PWC6 伊達 悠 作 (登場 4 回)**

**PWC ばか詰 9 手**

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王		▲ なし
									一
									二
								桂	三
							桂		四
									五
									六
									七
									八
									九

【ルール注意】 最後必ず打歩で詰ませて下さい。

【詰手順】



88 角/99 馬 12 玉 22 角成 同馬/99 馬

89 馬 34 歩 同馬 13 玉 14 歩 迄 9 手詰

### 【解説(のようなもの)】

狙いは 99 角を馬にし 89 に移動して歩を入手するというストーリーです。なかなか面白いとは思いますが、やはり 99 角と打つ展開にもって行きたいところです。また詰上りに不要な 15 桂の存在も気になる。15 桂は 2 手目 23 玉をなくしただけの配置なんですね。

ここら辺は宿題と言うことで……。

試しに初形から 15 桂・99 角、88 馬を除いて持駒:角にしてみると面白い 2 解問題になります。考えてみて下さい。

### 若林

「収束 5 手が PWC である必要がないのが今ひとつ。」

★ふむふむ

### 隅の老人 B

「打歩詰?、歩を手に入れるには?、解ければ成る程、苦勞しました。」

### 橋本孝治

「大駒の取り合い(実際は取れなくて位置変更ですが)は派手で良いですね。これが何も仕掛けがない空中に限定打を伴って出現したらもっと良いのですが。」

★何もない所へ大駒限定打……良い響きだ。。

### 北村太路

「一度 2 二まで行って、戻ってきて、8 九馬とは。全く気づきませんでした。(fm 使用)」

### 小峰耕希

「こちらは殆ど悩まず解けました。角の成り込みや歩中合は悪くないと思うけど、詰上りになってみると 15 桂が目障りなんですよ。」

★簡単だった人と難しかったという人と半々です。不思議です。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### 【総評】

### 若林

「今回は PWC4 がやはり圧巻でしたが、他の短編も充分に楽しめました。北村氏の発想力と実現力には相変わらず脱帽です。」

★第 6 回でも同じ事を言って頂きましょう～

### 隅の老人 B

「6 題で半月以上は楽しみました、加えて無料、これも嬉しい。作家の皆さんの、あの手この手の創作感覚?には感心です。解くのは大変ですが、解答書きも PWC の長編は一仕事、4 番では、幾度も指し手を並べ直しました。我ながら良くやる、いつまで続くことやらと思っています。」

★そう言えば無料なんだな。賃金計算したらうん万円は掛かっている気がする

### 橋本孝治

「今回は問題数が少ないから楽勝」とか思っていたら、いきなり PWC1 で躓きました。他の方のブログなどを見ると、割と簡単に解いているみたいなので、余計に焦りが…。盲点に嵌ったと言えばそれまでですが、詰将棋ってやっぱり怖いですね。」

★いやいや正解者 3 名ですからご安心を……

### 北村太路

「うまく入れ替えを使うと、難解な筋のものが作れそうですね。移動した後のイメージがなかなかわからないので。難しいのばかりになると、全部 fm 解答になってしまいそうです。」

★楽しめるものがやはりいいですね。

### もず

「毎度毎度締め切り間際で申し訳ありません。また半分しか解けませんでした。」

★私も他のサイトの解答はいつも最終日です。

### 小峰耕希

「今回は大変非常識な解答成績になってしまいました。我ながら不思議です。それはそうと、今月はアンチキルケ、OFM、JIGSAW BOX、九G、パラの解答締め切りが重なってしまったようで、月末が思いやられます。今からでもどなたか締め切りを遅らせて下さると助かるのですが…。」

★もうだいぶ終わっているでしょ？かなり解答実力がついた様に思えますよ。

#### 【解答成績】

解答者名	1	2	3	4	5	6
若林	○	○	○	○	○	○
隅の老人B	○	○	○	○	○	○
橋本孝治	○	○	○	○	○	○
北村太路	△	○	○	○	○	△
もず		○	○		○	
小峰耕希	△	○	○	○	○	○

△は FM 解答

解答者数 6名 うち全題自力正解者 3名

全題正解者は今回も解答3強・橋本孝治・隅の老人B・若林さんの3名でした。

今回は解答者からは好評でしたが、解答者数が伸びないのが残念でした。

もっともっとたくさんの方に鑑賞していただきたい。そんな作品群でした。